



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 福岡中央銀行 上場取引所 福
 コード番号 8540 URL <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 古村 至朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 石塚 昭二 TEL 092-751-4429
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,471	2.9	913	2.3	566	8.2
30年3月期第3四半期	7,256	0.4	935	42.5	617	29.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	209.04	
30年3月期第3四半期	228.01	

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前事業年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	540,873	28,042	5.1
30年3月期	523,609	28,898	5.5

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 28,042百万円 30年3月期 28,898百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		2.50		25.00	
31年3月期		25.00			
31年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年3月期第2四半期末の1株当たり配当金については、当該株式併合前の金額を記載し、平成30年3月期の年間配当金合計は「-」として記載しております。

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	0.0	840	35.9	500	42.3	184.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	2,737,160 株	30年3月期	2,737,160 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	28,962 株	30年3月期	28,768 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	2,708,301 株	30年3月期3Q	2,708,809 株

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前事業年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
※ 平成31年3月期 第3四半期決算説明資料.....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、株式等売却益の増加等を主因に前年同期比2億15百万円増加し74億71百万円となりました。

一方、経常費用は、与信関係費用の増加等を主因に前年同期比2億38百万円増加し65億58百万円となりました。

その結果、経常利益は前年同期比22百万円減少の9億13百万円となり、四半期純利益につきましても、前年同期比51百万円減少の5億66百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(主要勘定の状況)

当第3四半期末の主要勘定残高につきましては、預金及び譲渡性預金は、前事業年度末比190億円増加の4,872億22百万円となりました。貸出金につきましては、前事業年度末比8億46百万円減少の3,736億円となりました。有価証券につきましては、前事業年度末比40億80百万円減少の864億8百万円となりました。

(資産、負債および純資産の状況)

資産につきましては、現金預け金等の増加により、前事業年度末比172億64百万円増加の5,408億73百万円となりました。

負債につきましては、預金等の増加により、前事業年度末比181億19百万円増加の5,128億30百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金等の減少により、前事業年度末比8億56百万円減少の280億42百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年11月13日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
現金預け金	41,736	63,852
有価証券	90,488	86,408
貸出金	374,446	373,600
外国為替	265	215
その他資産	4,859	5,037
有形固定資産	13,564	13,480
無形固定資産	482	694
前払年金費用	1,566	1,727
支払承諾見返	176	182
貸倒引当金	△3,977	△4,328
資産の部合計	523,609	540,873
負債の部		
預金	457,001	478,837
譲渡性預金	11,221	8,384
債券貸借取引受入担保金	20,930	20,793
その他負債	2,194	1,889
役員退職慰労引当金	185	216
睡眠預金払戻損失引当金	140	148
繰延税金負債	983	498
再評価に係る繰延税金負債	1,878	1,878
支払承諾	176	182
負債の部合計	494,711	512,830
純資産の部		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	1,203	1,203
利益剰余金	17,102	17,532
自己株式	△125	△126
株主資本合計	20,680	21,110
その他有価証券評価差額金	3,963	2,678
土地再評価差額金	4,253	4,253
評価・換算差額等合計	8,217	6,932
純資産の部合計	28,898	28,042
負債及び純資産の部合計	523,609	540,873

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
経常収益	7,256	7,471
資金運用収益	6,177	6,080
(うち貸出金利息)	5,239	5,153
(うち有価証券利息配当金)	920	910
役務取引等収益	762	764
その他業務収益	2	3
その他経常収益	313	623
経常費用	6,320	6,558
資金調達費用	249	182
(うち預金利息)	246	180
役務取引等費用	772	761
営業経費	4,927	4,852
その他経常費用	370	761
経常利益	935	913
特別損失	10	4
固定資産処分損	2	4
減損損失	8	-
税引前四半期純利益	924	909
法人税、住民税及び事業税	151	297
法人税等調整額	155	45
法人税等合計	306	343
四半期純利益	617	566

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

平成31年3月期 第3四半期決算説明資料

(1) 損益の概況

(単位:百万円)

	平成31年3月期 の予想値	平成31年3月期		平成30年3月期
		第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比	第3四半期 (9ヵ月間)
経常収益	【9,600】	7,471	215	7,256
業務粗利益		5,903	△ 17	5,920
資金利益		5,897	△ 31	5,928
役務取引等利益		2	12	△ 10
その他業務利益		3	1	2
経費(除く臨時処理分)		4,933	△ 41	4,974
人件費		2,918	17	2,901
物件費		1,727	△ 64	1,791
税金		287	6	281
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		969	24	945
除く国債等債券損益【コア業務純益】	【980】	969	24	945
一般貸倒引当金繰入額 ①		112	242	△ 130
業務純益		857	△ 219	1,076
うち国債等債券損益		—	—	—
臨時損益		56	197	△ 141
うち不良債権処理額 ②		542	126	416
うち株式等損益		372	203	169
与信関係費用(① + ②)	【616】	654	369	285
経常利益	【840】	913	△ 22	935
特別損益		△ 4	6	△ 10
税引前四半期純利益		909	△ 15	924
法人税、住民税及び事業税		297	146	151
法人税等調整額		45	△ 110	155
法人税等合計		343	37	306
四半期純利益	【500】	566	△ 51	617

(注)平成31年3月期の予想値は、平成30年11月13日に公表したものであります。

(2) 金融再生法開示債権

金融再生法ベースの開示債権額は、前年同期比8億36百万円減少し、141億22百万円となりました。
また、総与信額に対する開示債権の比率は0.26ポイント低下し、3.77%となりました。

	(単位:百万円、%) (参考)(単位:百万円、%)		(参考)(単位:百万円、%)
	平成30年12月末	平成29年12月末	平成30年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,270	7,537	7,408
危険債権	5,380	5,710	5,146
要管理債権	1,472	1,710	1,575
合計(A)	14,122	14,958	14,129
正常債権(B)	359,905	355,656	356,780
総与信額(C) = (A)+(B)	374,027	370,614	370,910
不良債権比率(A)/(C)	3.77	4.03	3.80

(注) 当行は部分直接償却は実施しておりません。

(3) 時価のある有価証券の評価差額

その他有価証券の評価差額は、前年同期比27億26百万円減少し、39億14百万円の評価益となりました。

	(単位:百万円)				(参考)(単位:百万円)							
	平成30年12月末				平成29年12月末				平成30年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	85,364	3,914	4,490	575	95,051	6,640	6,969	329	88,072	5,317	5,756	439
株式	8,103	2,128	2,557	428	9,942	4,036	4,297	260	9,122	3,317	3,648	330
債券	67,925	1,771	1,772	1	77,616	2,428	2,434	6	70,206	1,847	1,854	6
その他	9,335	14	159	144	7,492	175	237	62	8,743	151	253	101

(注) 1. その他有価証券の株式等については(四半)期末月1ヵ月平均の市場価格等に、それ以外については

(四半)期末日の市場価格等に基づいて算出しております。

2. 満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式は、該当ありません。

(4) 預金・貸出金残高

総預金残高(譲渡性預金を含む)は、前年同期比56億38百万円増加し、4,872億22百万円となりました。
貸出金残高は、前年同期比34億50百万円増加し、3,736億円となりました。

① 預金(未残)

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	平成30年12月末	平成29年12月末	平成30年9月末
総預金	487,222	481,584	482,271
預金	478,837	475,586	473,786
うち個人預金	334,830	333,017	330,139
譲渡性預金	8,384	5,998	8,485

② 貸出金(未残)

	(単位:百万円、%)		(参考) (単位:百万円、%)
	平成30年12月末	平成29年12月末	平成30年9月末
貸出金	373,600	370,150	370,518
うち中小企業等貸出残高	345,610	340,627	342,467
中小企業等貸出比率	92.50	92.02	92.42
うち個人ローン残高	68,897	69,976	69,059
個人ローン比率	18.44	18.90	18.63

(5) 預かり資産残高

預かり資産残高は、前年同期比5億60百万円減少し、428億87百万円となりました。

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	平成30年12月末	平成29年12月末	平成30年9月末
預かり資産残高	42,887	43,447	43,747
投資信託	13,643	15,323	14,839
公共債	1,112	1,543	1,295
個人年金保険等	28,131	26,579	27,612

以 上

本件に関するお問い合わせ先
総合企画部 橋本 TEL 092-751-4429